

○ 園外保育、特別指導等の実施

- ① 体操教室 年長から1歳児までが年10回実施・・・体を動かす楽しさを知る
- ② 英語教室 年長が年16回、年中が年10回、年少が年8回実施
・・・英語に親しみ、よい発音を聞く耳を育てる
- ③ 書道教室 年長が年9回実施・・・・・・・・文字への関心、集中力の育成
- ④ 音楽教室 年長・年中で年10回実施・・・・・・・・音楽への関心、リズム感の育成
- ⑤ 収穫体験 サツマイモの苗植え・収穫、いちご狩り、ジャガイモの苗植え・収穫、ブルーベリー狩り、ミカン狩り など
- ⑥ 福祉体験 ゆうかり慰問、まほろば慰問など施設を訪問
- ⑦ 表現・音楽体験 みかぼみらい館大ホールでのお遊戯会、人形劇の鑑賞
- ⑧ 季節の行事体験 バザー、納涼祭、もちつき、クリスマス会、節分集会
- ⑨ 安全教育 避難訓練（毎月1回実施、洪水・火災・地震・不審者）、交通安全教室
- ⑩ 健康教育 むし歯予防デー、運動会、身体計測、内科検診、歯科検診
- ⑪ 自然体験 ぐんまの森、園外保育（庚申山など）、近隣の散歩
- ⑫ 保護者の参加 保育参観（年2回）、プラチナデー（祖父母）、親子旅行

□ 家庭が中心となって行ってほしいこと

- ① 読み書き・・・興味を持った絵本を何度も読み聞かせる、物や人の名前に関心を持たせるなど、この時期は言葉の引き出しをたくさん持ち、文字への関心を高めましょう。
- ② 食事マナー・・・スプーンや箸の持ち方、茶碗の持ち方、食べる時の姿勢など、気がついた時点で正しい持ち方等を教えてあげてください。
- ③ 着替え・・・服を自分で脱ぐ・着る、靴下をはく、靴の左右を確かめるなど、少しずつできるように促しましょう。

□ 家庭で気をつけたいこと

- ① ゲーム、テレビ、スマホ等の長時間利用
・・・時間や約束事を決めて守らせるなど、無制限の利用はやめましょう。
- ② 夜遅くまで起きている
・・・朝すっきりと起きられないと、一日の生活がうまくスタートできません。
- ③ 親が叱るべきときに叱る、「ダメなものはダメ」と言える
・・・わがままに対しては、理由をきちんと説明した上で叱る場面も必要です。

大切なことは、

- 家庭と園が連携して、共通の取り組み、働きかけを行う
- 子どものやる気、興味関心を大切にする
- できないことを叱るのではなく、できたら褒めることで成功体験を積ませて自信をつけさせ、子どもの自尊感情を高めたい